

令和4年第3回臨時会が会期1日で開かれ、新型コロナウイルス感染症対策として商品券を配布するプレミアム還元事業等が提案されています。たてやま清隆議員が個人質疑を行い、事業の内容を質します。傍聴、視聴し、ご意見をお寄せ下さい。

8月9日(火) おおむね10時~ たてやま清隆議員



<主な質疑項目>

1 「レシートを活用したプレミアム還元事業」 (11億9,383万3千円) について

(1) 同事業が提案される背景について

○第7波の感染急拡大、原油価格や物価の高騰による市民生活や地域経済の現状認識

(2) 同事業及び関連する県の補正予算の内容について

○県の本市への予算配分と県の積算根拠
○本市の同事業の補正予算について一県の補助金では不足する理由と根拠
○本市の負担の発生要因に対する県の見解と本市の対応について ほか

(3) 関連する県の補正予算議案の提出の経緯と本市の対応について

(4) 県の補正予算成立後の県との協議の経緯について

(5) 県内の他市町村の対応状況について

(6) 市町村が実施主体となる事業であるにもかかわらず、 事前協議もなく補助事業への参加と財政負担を求める県

↑ の行政運営と今後の県との定期協議の在り方に対する市長の見解

(7) 同事業の今後の課題について

○経済波及効果について一全世界帯が利用するための条件と課題 ほか
○対象について一対象となる商品(サービス)と対象とならない商品(サービス)。対象となる店舗と対象とならない店舗。本市に転入してきた世帯への対応 ほか
○レシートの活用と課題について一レシートを発行できない場合の代替措置(個配等による口座引落とし等)
○商品券等の利用方法及び利用期間
○委託する事業者の作業場所と市民の個人情報の監督体制と所管課の役割
○市民の意見に対する見解について一各世帯に3千円を還元するために、約千円の経費を使うのは非効率ではないか。各世帯への現金給付や現物給付による支援も検討すべきではないか

(8) コロナ禍の下での同事業の推進ではなく、コロナを収束させるための感染対策の一層の強化と、原油価格や物価の高騰の影響を受ける市民と事業者を支援するさらなる追加措置に対する市長の見解

鹿児島市が旧統一協会系イベントの 「後援取消し」を表明

8月2日、党市議団の調査によって、鹿児島市が、旧統一協会系の団体行事である「ピースロード in 鹿児島」の「後援」をしていることが判明したため、翌3日、党市議団として「今回の後援取消しと今後も名義後援をしないこと」を求める緊急要請をしました。(写真参照)



対応した総務課長(右側)からは、市長と協議の上、本日付で「後援取消しの手続きをすすめている」との表明がありました。

会場で鹿児島市議会議員の皆さんに「レシートを活用したプレミアム還元事業」について、ご意見を伺いたいと考えています。ぜひご意見をお寄せください。

8/18(木) 10時~ 第1委員会室

総務環境委員会

傍聴に来て
ください!

請願「適格請求書等保存方式(インボイス制度) の実施中止を求める意見書提出について」

民主商工会から出されている請願について、党市議団は、紹介議員として採択のために奮闘しています。2回目の審査がありますので、ぜひ傍聴してください。反対の声を大きくしていきましょう。



郵送料無料の返信用封筒でお送りくださるかfaxでも回答頂けます。ご協力よろしくお願ひします。